

仲間の悩みや不安をサポート
養成に取り組む大分上野丘高

大分市の大分上野丘高校(南雅)から、傾聴技法やカウンセリ
量校長)で16日、ピア・サポーター
研修修了式があった。

15人に認定証

ーが相談を受けて援助する取組
み。同校では2009年度、ボラン
ティア部の活動としてスタート。
独自の認定制度を設けている。

研修生は、同校スクールカウンセラ
ーの藤井昭義さんや丸尾直彦
教諭(ピア・サポート・トレーナ
ー)と話した。

本年度は中級3人、初級12人のピ
ア・サポーターが認定された。
南校長がいさつし、藤井さん
が「誰かが困ったときに、解決し
ようとするのではなく、共に考え
整理することが大事」と認定証を
手渡した。



認定証を受け取る本田綾乃さん

2012年(平成24年)2月21日 火曜日

大分上野丘高校で「ピア・サポーター」の
養成に取り組む学校心理士

藤井 昭義さん (75)



友人との関係や進路など、
さまざまな不安、悩みを抱え
る子どもたちをそばで支える
仲間がピア・サポーター。欧米
では普及が進んでおり、「ちょ
っとしたトラブルや悩みは先
生よりも同年代の仲間の方が
打ち明けやすく、サポート効
果も高い」と存在意義を語る。
スクールカウンセラーとし
て足を運んでいた同校で、2
009年秋から養成講座の講
師を務める。コミュニケーション



一生、向き合いたい

ヨンの取り方や相手の気持ち
の引き出し方などをアドバイ
ス。「サポーターの役割は、
悩んでいる本人の気持ちや状
況を整理したり、一緒に考え
ること」と説く。

これまでに生徒26人を指
導。大学で心理学を学びたい
という教え子もいて、「子ど
もたちの熱意、純粋さに打た
れる」。

大分舞鶴高校の2回生。恩
師らの「後継に続きたい」と教職
を志した。県教委で長く生徒
指導に携わり、子どもの健全
育成組織の立ち上げに奔走。
退職後に学校心理士の資格を
取得、現在は大分市内の小中
高校を担当するスクールカウ
ンセラーをバックアップする
スーパーバイザーも務める。
「一生、子どもたちと向き
合っていきたい」。書道やテ
ニスなどが趣味。大分市内の
自宅で妻と暮らす。同市出身。

2012年(平成24年)3月3日 土曜日